

スピングラス展 — 建築家松岡恭子と紡ぐ非線形の物語 —

SPINGLASS 展

Spinglass Exhibition A non-linear narrative with architect Kyoko Matsuoka

松岡恭子と 板野純・青木仁敬・前川晴宗

2024 6/5 wed. → 15 sat. 11:00 → 17:00 *月曜休館

Talk session : 松岡恭子 × 森田俊一郎 × 板野純 × 青木仁敬 6/9 sun. 14:00 ~

会場 : Artist Cafe Fukuoka グランドスタジオ (体育館)

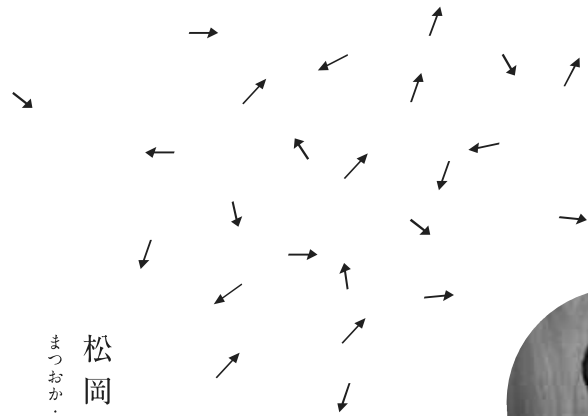
入場無料

スピングラス展 — 建築家松岡恭子と紡ぐ非線形の物語 —

松岡恭子と 板野純・青木仁敬・前川晴宗

「スピングラス」とは、物質において電子の向き（スピン）がばらばらで様々な方向を向いているにもかかわらず形成される、ガラスのような準安定状態のことです。現代の建築づくりや街づくりのプロセスは、規則的に並んでつくられる結晶のようなものではなく、スピングラス的な繋がりや活動を軸にしてこそ、この大きく変換していく世界に向かい合えるのではないかと。私たちは建築家松岡恭子と共に、世代を超えて、

同じ方向を向いたり、時にぶつかったりしながら、建築・土木・インテリア・プロダクトという枠を超えて広い意味でのデザインに取り組んできました。その時の思考や手法、言葉をシェアするための場をつくりたいと考えた時に、始まりと中間と終わりの順序がなく、突然夢が挿入されたりといった「非線形」の語り口を用いた展示を行うことにいたしました。



まつおか・きょうこ
松岡恭子

1964年、福岡市生まれ。建築家。株式会社スピングラス・アーキテクト代表取締役、株式会社大央代表取締役社長。九州大学建築学科卒業。東京都立大学大学院、コロンビア大学大学院修士課程修了後、ニューヨークで設計活動を開始し、台湾、日本へと活動領域を広げる。様々な建築物やプロダクトに加え、橋梁・公園など大規模な土木構造物のデザインも手がける一方、国内外の大学でデザイン教育、地域づくりにも従事。NPO法人福岡建築ファウンデーション理事長として建築の素晴らしさを市民と共有する活動を2009年より継続中。コロナ禍で都心空間の存続が危ぶまれた2020年に発案した社会実験「One Kyushu ミュージアム」などを通して、一般社団法人都心空間交流デザイン代表理事としてこれからの都市の公共性を探求している。

主な受賞歴:

日本建築学会建築九州賞作品賞、日本土木学会田中賞、福岡県文化賞、福岡県美しいまちづくり建築賞大賞、福岡市都市景観賞大賞、グッドデザイン賞、他多数。



いたの・じゅん
板野純

建築家 / 板野純アトリエ代表

1974 大阪府吹田市生まれ
1998 大阪芸術大学芸術学部建築学科 卒業
1999 大阪芸術大学芸術学部建築学科 研究生 修了(宮本佳明研究室)
1999～2005 (株)スピングラス・アーキテクト
2005～ 麻生建築&デザイン専門学校 非常勤講師
2008～2019 Nagahama Design Studio 共同主宰
2020～ 板野純アトリエ 代表

主な受賞歴

2018 九州建築選2018 第12回建築九州賞奨励作品



あおき・とよたか
青木仁敬

建築家 / 株式会社仁設計代表取締役

1987 福岡県太宰府市生まれ
2005 福岡県立修猷館高校 卒業
2009 九州大学工学部建築学科 卒業
2011 九州大学大学院修士課程 修了(建築学)
2011～2015 (株)スピングラス・アーキテクト
2016～ (株)仁設計 主宰

主な受賞歴

2021 Sky Design Awards 2021 - The New Black - Silver Prize
2022 九州建築選2022 第16回建築九州賞奨励作品
2024 Sky Design Awards 2024 Shortlisted



まえかわ・はるむね
前川晴宗

建築家 / 株式会社スピングラス・アーキテクト

1990 神奈川県座間市生まれ
2013 東京電機大学未来科学部 建築学科卒業
2015 東京電機大学未来科学研究所 建築学専攻卒業
2015～現在 (株)スピングラス・アーキテクト